

■ 事業進捗状況チェックリスト（委員からの提案・助言）

進捗状況評価 判定基準	A：実施した（アクションがあった）	B：検討した（アクションに向け準備した）	C：実施しなかった。予定通りにいかなかった。（アクションがなかった）
-------------	-------------------	----------------------	------------------------------------

【 1 】 緑の資産の保全と継承

事業別 (下線：重点プロジェクト)	I 期 30	Ⅱ期 31-33	Ⅲ期 34-37	事業概要等	担当部署	【令和 5 年度回答】 取り組み状況	令和 5 年度 評価案	令和 5 年度 評価の視点	委員からの提案・助言等
1-1 板橋区緑の保全方針による樹林地等の保全									
【NO.101】 特別緑地保全地区制度の活用				保全方針における特別保全樹林等への制度の活用を進めます。	みどりと公園課	区内の緑地（ 1 か所）を特別緑地保全地区として都市計画決定するため、関係部署と協議中である。	A	都市計画決定に向けた調整を進めており、進展があったと言えるため。	【101-1】発案から決定までのおおよその期間に対し、進捗の度合いと、計画決定時期はいつ頃を目指しているのか確認したい。
【NO.102】 市民緑地制度の活用				一般開放が可能な民有緑地への制度の活用を進めます。	みどりと公園課	市民緑地の増減なし 新たな市民緑地を打診・検討中	C	市民緑地を拡大させるための行動がなかったため。	【102-1】民有緑地は世代の交代と伴に減少していく状況で、市街地で市民緑地を増やすことは不可能な状態だと思います。  【102-2】緑地とあるが、緑地に限定すべきことなのか、一定面積以上の空地なら形態はいずれでもよいのではと思うが。
<div>取り組み</div> 【NO.103】 保存樹林・竹林制度の運用				良好な樹林地等の保全を支援する制度として運用します。	みどりと公園課	R5.12月末時点 保存樹林:30,462.57㎡ 保存竹林:853.99㎡	B	面積の増減はなく、今年度に新たな取り組みを行っていないが、継続して制度を運用しているため。	【103-1】他県から転入してきた一般人目線として、大門の竹の子公園はとても美しく、他県にも、外国にも誇れる場所だと思う。歴史的な映画の撮影場所や、日本のアニメのコスプレイヤー向けのフォトスポットなど、エンタメ界で花開いていけそう…とは思割に認知度が低くもったいない。インスタグラムなどで公開してみては？  【103-2】竹の子公園に設置されている「竹のおもちゃ」の看板がおもしろい。実物の竹のおもちゃに触れられる機会があればより、子供たちの世代が竹に親しむことができるのでは？と思う。手入れなどを通して廃棄されたりする竹があるようなら、竹のおもちゃや楽器などに活用して、町のアピールにつなげていけないか。 <div>【103-3】民有緑地は世代の交代と伴に減少していく状況で、市街地で市民緑地を増やすことは不可能な状態だと思います。【 B C 】</div> 【103-4】現況では面積の増加を図るのは民有地では無理がある。面積の増加は考えなくても良いのでは。減らさないことが重要。
<div>取り組み</div> 【NO.105】 税制改正など国・都への要請				都市部の貴重な樹林地保全に向けた税制改正等を要請していきます。	みどりと公園課	継続（特別区長会要望）	B	継続して要望しているため。	【105-1】継続的に要望しているとのことですが、どのような内容でしょうか、上記のように板橋区の緑地は官庁が所有又は管理しているもの以外は減少の一途をたどっています早急の税制改正が必要だと思います？ 【 B C 】  【105-2】民有地の保全に伴う税制優遇改変には注意が必要。優遇を受けていても民間では家庭事情等の都合によって保全せずに処分等をせざるを得ないことがあり得るので、そのような場合には区として対処できる（優遇供与の）条件付帯が必要と思う。（優先買取権等）
1-2 歴史ある大径木の保全									
【NO.106】 保存樹木制度の運用				大径木の保全を支援する制度として運用します。 ※ 名木等への助成強化を検討します。	みどりと公園課	R5.12月末時点：1655本 （新規指定： 1 本、解除： 34本） 保存樹木等調査の実施	C	継続して保全に努めているが、指定本数は減少しており、今年度に新たな取り組みがなかったため。	【106-1】保存樹木の特に神社等にある大径木の存続が難しい状況です。管理母体が町会や個人等においては、樹木の維持管理費が捻出出来ず、保存樹木の指定を解いて伐採する案件が多くなっております。一昨年も地域の神社内の銘木の伐採依頼があり、地域のシンボルが消滅しました。大径木に関しては、落ち葉対策費や維持管理にかかる費用等の大幅な見直しが必要と思います。  【106-2】指定の減少とあるが板橋区の現況を見るに、大木の発見が有りようもなく評価の対象とするのが適当なのか。新規指定、指定解除の理由を精査して、所有者の都合が優先しての案件ではないことを願う。
【NO.107】 景観重要樹木の指定				公園内樹木への指定も視野に、制度の活用を進めます。	みどりと公園課 都市計画課	既指定：川越街道五本けやき（平成 2 3 年度） 新規指定：なし（担当部署間で課題を共有）	B	新規指定には至っていないが、庁内調整を進めたため。	【107-1】既指定の「川越街道五本けやき」は、殺風景な街道上で歴史的な背景も含め貴重な存在。指定はされているが交通量が多い中央分離帯にあるため、今後、上板橋駅南口の開発による影響を受けずに、よい状態でその場所に残されることを望みます。
【NO.108】 保存生垣制度の運用				緑の街並みの保全を支援する制度として運用します。	みどりと公園課	R5.12月末：3021.85m （新規指定0m、解除203.25m）	C	継続して保全に努めているが、延長は減少しており、今年度に新たな取り組みはなかったため。	【108-1】風致地区でもないとし垣が増えるのが難しくなる。宅地の細分化で生垣では、理解ある隣地所有者でもないし境界確定の面で不都合で、公道面においては剪定等の管理が行き届かないと迷惑の要因にもなる。区で管理するぐらいの気構えが必要かもしれない。
【NO.109】 区登録記念物となっている名木等の保全				保存樹木制度を運用します。 ※ 名木等への助成強化を検討します。	みどりと公園課 生涯学習課	継続して名木・巨樹・老樹等（ 1 1 本）を管理 【工事助成】名木の樹勢回復のための調査・治療・工事 R5.12月末時点:申請実績なし	B	申請実績はないが、保存は継続しているため。	【109-1】保存現状維持できていれば満点ではないか。

■ 事業進捗状況チェックリスト（委員からの提案・助言）

進捗状況評価 判定基準    A：実施した（アクションがあった）    B：検討した（アクションに向け準備した）    C：実施しなかった。予定通りにいかなかった。（アクションがなかった）

事業別 （下線：重点プロジェクト）	I 期 30	Ⅱ期 31-33	Ⅲ期 34-37	事業概要等	担当部署	【令和５年度回答】 取り組み状況	令和５年度 評価案	令和５年度 評価の視点	委員からの提案・助言等
1-3 板橋らしさを代表する緑の景観の保全									
【NO.110】 板橋十景・石神井川桜並木の魅力向上				桜並木の維持保全、ライトアップ等による魅力向上に取り組めます。	くらしと観光課 工事設計課 みどりと公園課	実施期間：R5年3月23日～R5年4月11日 18時～20時 実施場所：板橋周辺（仲宿50及び本町29） 中板橋周辺	A	ライトアップを実施し、魅力向上に努めたため。	【110-1】（確認）ライトアップを実施した結果、魅力が向上したかどうかはどのように測っていますか？  【110-2】（提案）提案ライトアップ以外の魅力向上策も何かあるとよさそうです。  【110-3】桜並木ライトアップの実施場所を広げてほしい。  【110-4】桜、川は都管理なのか、区管理なのか。上流練馬地区で古木ということで切り倒されているのもあり、更新苗木が植えられたのを見るが、そうでないものもある。川の中まで枝が茂った景観が無くなるのが心配だ。是非桜の名所を作ってください。
【NO.111】 景観形成重点地区の緑の保全と充実				地区特性を活かした良好な緑の景観形成を図ります。	都市計画課 みどりと公園課	既指定：5地区（①板橋崖線軸地区、②石神井川軸地区、③加賀一・二丁目地区、④常盤台一丁目・二丁目地区、⑤板橋宿不動通り地区） 新規指定：赤塚四・五丁目地区の追加を目指し、地元勉強会により検討中 継続：緑化計画に係る「緑のネットワークの形成への配慮」として、①崖線の緑地の保全②石神井川沿いの景観形成③在来種の利用を推奨している。	B	新規指定には至っていないが、追記を目指した地元勉強会を実施し、検討を進めているため。	【111-1】地元勉強会の主体は行政か、地域の自主活動グループなのか？ 地域を巻き込むことができているのは望ましいので、モデルケースになるように行政の継続したサポートもあると良いと思う。  【111-2】赤塚植物園で開かれた、都市計画課さんの「あかつかワクワクproject」がおもしろかった。崖線の緑地保全についてなど、ジオラマを展示して、崖線の説明があったり、海が昔はそこまできていた話などをマンツーマンで解説してもらえ、赤塚の土地について興味がわいた。親子での参加も多く、成功していたように思う。  【111-3】既指定の5区は住民主導で重点地区となり、赤塚4,5丁目は新規指定の為に勉強会が開かれていると聞くと、今後、他の地域が新規指定を目指したり他地域への推奨など見据えて、指針や上記の経緯を公表する予定はあるか？  【111-4】担当部署はみどり公園課、都市計画課とあるが、「都市づくりビジョン」の中の“緑と水の創出・保全”の情報共有など、具体的な連携はあるか？（前回の推進会議で他管轄との連携について少し触れたこともあり、複数の部署の連携強化で更に盤石な体制に…）

【2】農のみどりの保全と活用

事業別 （下線：重点プロジェクト）	I 期 30	Ⅱ期 31-33	Ⅲ期 34-37	事業概要等	担当部署	【令和５年度回答】 取り組み状況	令和５年度 評価案	令和５年度 評価の視点	委員からの提案・助言等
2-1 農のみどり保全重点地区における取り組み									
【NO.201】 農業園の整備				平成32（2020）年度開設予定（赤塚五丁目）	みどりと公園課	赤塚植物園農業園は令和2年度に整備完了済み。同年5月より開園	実施済	農業園が令和２年度に整備・開園されたため。	【201-1】情報公開が少なすぎる。 インスタなどのSNS、チラシ、広報いたばしなど、活動のおしらせをもう少しした方が良いかと思う。
【NO.202】 農のみどり保全重点地区における事業推進計画の検討				農の風景育成地区制度の活用等を含め、農のみどり保全重点地区における事業推進計画を検討します。	みどりと公園課 赤塚支所 都市計画課	実績なし	C	具体的な取り組みがないため。	【202-1】何もしないとは勿体ない。産物を利用したり販売したりすることで（商業的に賄える）新たな展開も図れる、何も食だけではない、小規模でもできる施設園芸でもなんでも可能、その手助けの企画を求められる。現場関係者すべての意欲の発揚を願う。
2-2 生産緑地地区の指定による農地の保全									
【NO.203】 生産緑地地区の指定				生産緑地地区の指定による農地の保全を図ります。	都市計画課	・54地区、7.66ha ・特定生産緑地の新規指定なし（令和3年度までに、対象地区の約99％を特定生産緑地に指定済）	C	生産緑地を継続して保全しているが、指定地区・面積は減少しており、今年度新たな取り組みはなかったため。	【203-1】土地（農地）の維持を節税の一環で考えて利用されている感もある。（固定資産税、相続税）。確かに板橋区の現況では農業を主な生業としてはられない環境にあることはわかるが、市街化区域内の農地については税の優遇を受けるにはある程度の節約を伴ったものは当然。民有地である以上処分の自由があるので、ここ数年激しくなった不動産投資熱でいずれ開発に飲み込まれ農地のままではられない。優遇税制を厚くしても10年20年程度現況を維持する程度で農業用地確保には程遠い。やがて施策も不要になるか。  【203-2】令和4年度、5年度と評価Cになっている。努力不足なのか、担当部署の評価を伺いたい。

■ 事業進捗状況チェックリスト（委員からの提案・助言）

進捗状況評価 判定基準    A：実施した（アクションがあった）    B：検討した（アクションに向け準備した）    C：実施しなかった。予定通りにいかなかった。（アクションがなかった）


事業別 （下線：重点プロジェクト）	I 期 30	Ⅱ期 31-33	Ⅲ期 34-37	事業概要等	担当部署	【令和５年度回答】 取り組み状況	令和５年度 評価案	令和５年度 評価の視点	委員からの提案・助言等
2-3 農とのふれあいの推進									
【NO.206】 区民農園の開設	←→			農地所有者から農地を借用し、区内農地の保全を図ります。	赤塚支所	R04：31農園3.7ha R05：29農園3.7ha	B	農園数は減少したが、継続して農地の保全に努めているため。	【206-1】年度をまたぎ、同じ区画の継続利用を希望する場合、畑を１月末に片付ける必要はないのでは？続けて育てられる作物（大根、いちごなど）もあり、利用方法に柔軟性があると良いと思う。
【NO.207】 農業体験農園の運営 農のイベントの実施 板橋ふれあい農園会の活動	←→			農とのふれあいの機会の充実を進めます。	赤塚支所	・農業体験農園の運営：年間通して収穫体験実施（年４回実施） ・農業まつり：令和５年11月11日（土）、12日（日）実施 ・学校給食用野菜一斉出荷→年４回実施（全小中学校出荷）	A	各種イベントの実施により、農とふれあえる機会の充実に努めているため。	【207-1】小中学校の学校給食野菜は、栄養士さん主導で配布されるメニュー表や当日の献立案内で、「板橋区産」と強調するなど、わかりやすく伝えられている。 子どもは「板橋区産野菜」と聞くことで「板橋に農家があるんだ」と認識し、実際に区内で農業体験や収穫を経験したあとは、「自分が行ったような場所であれた野菜なのかな」とイメージしながら食べるそうです。 「農と食」の連携や体験は記憶に残り、意識することにつながるので、継続して力を入れていただきたい。
2-5 農業振興施策の展開									
【NO.209】 農業体験学校の運営	←→			農業技術を持った人材育成に取り組みます（平成30年度開設）。	赤塚支所	○通年型講習 受講生：16名 受講回数：年間29回実施	A	農業体験学校の運営を継続しているため。	【209-1】通年型・短期型・体験型と 内容や参加期間をわけて、区民がそれぞれの目的やペースによって参加しやすくしているのが良い。 農業技術を持った人材の育成に取り組むとあるが、講習の様子を発信する他、通年型受講生の修了後の活動や、習得した知識や技術を活かす場の情報等があると、さらに良いと思う。  【209-2】この学校は、成増にある農業学校のことですか？ わが家も１年間、短期講習を受けましたが、区民農園を始める前の予習として学びの場があり、役に立ちました。
【NO.211】 板橋区版6次産業の展開	←→			区内商店街の惣菜店などへの区内産野菜の供給戦略等を展開します。	赤塚支所 産業振興課	区内農業者が東京クラフトリキュール合同会社にリキュール用の果樹類を出荷。	A	令和４年度に引き続き、継続して区内産果樹類の出荷ができたため。	【211-1】「東京クラフトリキュール合同会社」という存在を初めて知りました。区内の農業者が果樹を出荷しているということも面白いニュースだと思うので、新しい動きを広報や、いたばしのローカルTV局などで情報発信していつてほしい。
【NO.212】 他の産業分野との新たな連携の促進	←→			農業と商業の相乗的発展をめざし、区内農産物による商店街の活性化を検討します。	赤塚支所 産業振興課	区内の店舗が実施する区内農産物を使用した商品開発に対して補助金を交付することで、商品開発を支援する補助メニューを板橋区産業振興公社で用意している。（令和５年度は実績１件）	A	補助メニューが活用されたということで、農業商業の発展に向けて連携できたと言えるため。	【212-1】（NO.211に関連して）リキュールの区内生産所に区内産のハーブを使う取り組みも面白く、継続しているためA評価も納得できる。区内には特徴のある店や工場がたくさんあるので、さらなる生産者との6次産業へのマッチングが期待できると考える。（<こんなコラボが実現したらいい>など区民からのアイデア募集や、板橋区の歴史と生産物を結び付けた販路開発など）

[ 3 ] 生物多様性の向上による生態系の保全と再生

事業別 （下線：重点プロジェクト）	I 期 30	Ⅱ期 31-33	Ⅲ期 34-37	事業概要等	担当部署	【令和５年度回答】 取り組み状況	令和５年度 評価案	令和５年度 評価の視点	委員からの提案・助言等
3-1 エコロジカルネットワークの形成									
【NO.301】 エコロジカルネットワーク形成方針に基づく生物多様性の向上	←→			公園・緑地や水辺の自然性の向上、街路樹・緑道などによる緑のネットワークの充実を進めます。	みどりと公園課 工事設計課	緑化の推進に関する条例に基づき、マンション建築の際の自主管理歩道に街路樹植栽を指導	B	局所的な視点となってしまっているが、街路樹植栽の指導は行えているため。	【301-1】今後民有地で長期にわたって植栽（中木以上）を行えるのはこの種の大規模建築、中規模建築の自主管理歩道等の植栽ではないか。区の指導も行き渡り効果がありそう。積極的に関わるべき。
【NO.302】 ビオトープの整備・管理	←→			ビオトープの新規整備については、良好な日常管理が見込める箇所について進めていきます。	環境政策課 みどりと公園課 新しい学校づくり課	エコポリスセンターに設置しているビオトープについては、令和5年度から月に一度、ビオトープ開放日を設けた。開放日にはエコポリスセンタースタッフが立ち合い、誰もが気軽にビオトープを見学できる環境を整えた。	B	新規整備は行っていないが、継続して管理しているため。	【302-1】エコポリスセンターでは令和5年度からビオトープ開放日を設け、年間予定12回のうち11回実施済（2月中に残り1回実施予定）。来館の親子連れや小学生、社会人などが気軽に参加し、ビオトープの自然や生きものと触れあう機会となり好評でした。
【NO.303】 自然環境実態調査の実施	←→			区民の協力を得ながら、区の自然環境の把握に努めます。 「緑地・樹木の実態調査」「湧水地点数調査」（5年毎調査）	環境政策課 みどりと公園課	【湧水地点数調査】R５実施（次回予定：R10） 【石神井川生物調査】（白子川と隔年で実施） 【区民参加型いきもの情報共有事業】（R1～３年まで実施、R4年度から「いたばし・いきものアルバム事業」として単年ごとに実施） 区民からいきもの写真と情報を投稿してもらい、投稿結果を区ホームページ、動画、パネルにして公開している。 【緑地・樹木の実態調査】調査時期対象外（R6年度実施予定）	A	湧水地点数調査や石神井川の生物調査等を実施しているため。	【303-1】区の自然環境把握手段として区民参加型の情報共有事業は、参加者の裾野が広く参加のハードルも低くて良い。 エコポリスセンターのかんきょう観察員（登録制）による一斉調査会や自然観察会なども毎回盛況。相乗効果を狙ってほしい。  【303-2】エコポリスセンター館内では、令和4年度のいたばし・いきものさがし」のいきものミニ図鑑のパネル展示を実施（令和5年6月～令和6年1月）、いきもの情報の共有に務めました。

■ 事業進捗状況チェックリスト（委員からの提案・助言）

進捗状況評価 判定基準    A：実施した（アクションがあった）    B：検討した（アクションに向け準備した）    C：実施しなかった。予定通りにいかなかった。（アクションがなかった）

事業別 （下線：重点プロジェクト）	I 期 30	Ⅱ期 31-33	Ⅲ期 34-37	事業概要等	担当部署	【令和５年度回答】 取り組み状況	令和５年度 評価案	令和５年度 評価の視点	委員からの提案・助言等
3-2 区の花ニリンソウなど山野草の保全									
【NO.305】 区の花ニリンソウの保全とPR				区の花ニリンソウの保全とPRを通じて、自然環境保全への意識啓発を進めます。	みどりと公園課	【ニリンソウガイドツアー】 緑のガイドツアーニリンソウコースの実施 【ニリンソウ展示】 区役所 1 Fプロモーションスペースにて、赤塚植物園で栽培したニリンソウの鉢植えや紹介パネルの展示 【ニリンソウ月間】 都立赤塚公園SC行事への後援 【ニリンソウの育て方講習会】年度内 2 回予定	A	緑のガイドツアーやイベントの後援等を実施しているため。	【305-1】区の花として知られているが、咲いている場所が少なく開花期間も短いため、実際に見た事がない区民や子どもが多いと思う。 保全意識の啓発のためには、開花時期だけPRするのではなく、小学校や花作りボランティアさんのいる公園に小さくてもニリンソウスペースを作るなど、身近な野草、区の花として育て保全していく試みをしてはどうか。  【305-2】りんりん号にニリンソウが描かれているものの、名前が書いていないのでもったいない。子供たちが学校帰りや休日に目にして、「ニリンソウ」という表記があれば、認知度が上がるのでは・・・




【４】うるおいのある水辺と湧水の保全

事業別 （下線：重点プロジェクト）	I 期 30	Ⅱ期 31-33	Ⅲ期 34-37	事業概要等	担当部署	【令和 5 年度回答】 取り組み状況	令和 5 年度 評価案	令和 5 年度 評価の視点	委員からの提案・助言等
4-1 荒川将来像計画による自然地の保全と活用									
【NO.401】 自然系ゾーンの整備				（Ⅰ・Ⅱ期）生物生態園利活用推進 （Ⅲ期）中規模自然地の整備	みどりと公園課	かわまちづくりにおいて、整備内容及び利活用について検討中	B	具体的に検討を進めていると言えるため。	【401-1】（確認）「かわまちづくり」は団体でしょうか？  【401-2】自然系ゾーンの整備について、整備の一環に施設までの交通アクセスを考える必要性があると感じています。  【401-3】荒川には、〈自然系ゾーン〉と〈利用系ゾーン〉があり、自然系の活用として「生物生態園」が整備されている。事業概要には生物生態園の“活用推進”とあるが、具体的にどのような推進をしているか？また、整備内容や利活用についての検討は地域や区の住民などの意見も取り入れられているのか？  【401-4】浸水予想地区での水害防止と水辺利用を協働テーマとして融合した課題としていただきたい。また川岸の向こう側（北区）および上流（埼玉県）との課題共有が大切ではないでしょうか。
4-2 親しめる水辺づくり									
【NO.402】 親水公園の活用				親水スポットの魅力向上に取り組みます。	みどりと公園課	見次公園（R5年度実績：1674隻（R5 10/31時点）） 営業日：3/20～10/31の土・日・祝・休日 営業時間：10時～17時（3・10月のみ10時～16時）	B	親水スポットの魅力向上のための取り組みを継続できているため。	【402-1】公園で水に親しめる場所というのが少ない。他の施策とも絡むが赤塚地区以外の地区の公園に貯水槽を設置して、その水の循環利用で水生植物等、流れの再現等考えられる。非常時は貯留水が利用できる。
4-3 湧水の保全と活用									
【NO.403】 湧水保全地域における湧水の保全と活用				湧水の保全とともに、見える化に向けた検討を進めます。	環境政策課 みどりと公園課	【湧水量測定】（毎月一回） 場所 ①不動の滝②赤塚城址下③志村城山公園④御手洗池 X（旧ツイッター）8回、オンラインイベント1回、区公式LINE1回、ハロウィン展示3回 X（旧ツイッター）で赤塚地域の湧水スポットの生き物を紹介した。湧水保全について、区役所1階総合案内窓口やパネル展にてチラシの配布を行い、普及啓発を行っている。 また、雨水タンク助成については、区公式LINEやオンラインイベントでHPの紹介をし、区役所地下1階ショーケースにパネルを展示したり、回覧板により周知した。 11月19日に、赤塚溜池公園周辺の湧水スポットのツアーを実施した。（子ども9名、保護者6名参加）	A	湧水量測定や湧水スポットツアー等を実施したため。	【403-1】湧水の測定や、推進会議でのツアーや意見交換などの実施については評価できる。さらに、保全・活用としての具体的な事例があれば知りたい。（例えば、湧水保全地域の“雨水浸透ます”設置費助成制度の活用状況などについて）  【403-2】以前は、「小豆沢崖線」「見次公園」も湧水(水質)調査をしていたように思うが、今は対象外になっているのか？



■ 事業進捗状況チェックリスト（委員からの提案・助言）

進捗状況評価 判定基準	A：実施した（アクションがあった）	B：検討した（アクションに向け準備した）	C：実施しなかった。予定通りにいかなかった。（アクションがなかった）
-------------	-------------------	----------------------	------------------------------------

[ 5 ]みどりの創出による快適なまちづくり




事業別 （下線：重点プロジェクト）	I 期 30	Ⅱ期 31-33	Ⅲ期 34-37	事業概要等	担当部署	【令和５年度回答】 取り組み状況	令和５年度 評価案	令和５年度 評価の視点	委員からの提案・助言等
5-3 みどりで快適・安全なまちづくり									
【NO.507】 屋上緑化・壁面緑化助成制 度の運用				屋上緑化、壁面緑化工事に対して助成 支援を進めます。	みどりと公園課	壁面緑化・屋上緑化助成実績 R5.12月末時点：共に0件	C	制度は導入しているが、実績がなく、 今年度に新たな取り組みがなかったた め。	【507-1】壁面緑化や屋上緑化が進むのは、緑の少ない都市では貴重な緑資源で良いことだと思います。せっかく 良い制度があるにも関わらず導入実績がないのは残念です。導入されない原因を調べたり、制度の広報に力を入 れるなどのことに取り組んでみてはいかがでしょうか。  【507-2】これこそ税制含め優遇策で効果が現れやすい。構造計算にも影響するので、新築時の大規模な建築 には取り入れられやすい。行政の指導力が生かせる。
【NO.508】 緑のカーテンの普及・啓発				公共施設とともに、区民への普及・啓発 を進めます。	環境政策課	公共施設へは、継続して資材・苗・土のリサイクル材の提供 による支援を行っている。区民へは、コンテストやSNS等を通 じて普及啓発を行っている。	A	公共施設や区民に対して、普及・啓発 事業を継続して行ったため。	【508-1】エコポリスセンターで実施している緑のカーテンアートコンテストは、令和5年度は昨年度より97件多い 478件の応募があり、年々応募数が増加しています。
【NO.509】 校庭の芝生化				メンテナンスのノウハウを蓄積しながら、芝 生化の推進を図ります。	新しい学校づくり課	芝生化面積 8,972㎡ （前年度から増減なし）	B	今年度は実績がないが、前年度以前 に実績があるため。	【509-1】この取組は知らなかった。温暖化の影響か、校庭が暑すぎて遊べない、体育の授業ができないということ もある中で、芝生化によりどのような効果が期待でき、またすでに芝生化されている学校での現状（良さ、大変な こと）を知りたい。ぜひ推進してもらいたい案件。  【509-2】現在芝生の管理に関しては、各学校のボランティア団体にゆだねられて行われておりますが、学校によっ て大きな差異が生じているように思います。比較的芝生化面積の大きい学校と小規模校では作業数量も大きく 異なり小規模校では主事さんが日常の管理をしている所も有り、十分な管理が行えず当初規模が維持できない 学校も出てきている状況です。 芝生の導入に当たっては、管理作業を行う組織の構築・管理用資材の購入費・関係者対象の芝生の管理知識 の講習・児童の管理作業への参加等を当該校に伝達し、校庭芝生の導入の意義を明確にする教育を進める事 をお勧めします。因みに講習費等は、東京都教育委員会の補助制度予算で行う事も可能です。

[ 6 ]公園の整備とリニューアル


事業別 （下線：重点プロジェクト）	I 期 30	Ⅱ期 31-33	Ⅲ期 34-37	事業概要等	担当部署	【令和５年度回答】 取り組み状況	令和５年度 評価案	令和５年度 評価の視点	委員からの提案・助言等
6-1 公園の新設整備									
【NO.601】 新設公園の整備				公園率6.1%を目標値として整備を進め ます。	みどりと公園課	新設公園なし 双葉町児童遊園の廃止（都に返還を求められたため）	C	区立公園の面積は減少したため。	【601-1】新設公園がなく、児童遊園が廃止されたのは残念です。土地の確保など難しいとは思いますが、引き続 き公園設置に向けて取り組んでいただければと思います。  【601-2】防災の観点から考えても、ただの公有空地の公園でも増えたらそのほうが良い、非常時は有効利用でき るので地域にとっても安全の必需品となる。補助金等で消費せず公有地増加に注力してほしい。私として残念な のは大山西町の旧大山小学校が廃校となったとき、敷地の半分が地元地主よりの借地で、その買取に区が失敗 したと聞いたことです。交通公園の隣接地でもあり何としても手に入れるべきだったと思います。地主はすぐにマンショ ン業者に売却、同時期、区道を挟んだ同じ地主の土地も変化。大きな公園が望めたのにと思う。
【NO.602】 まちづくり事業による公園・広 場の整備				様々なまちづくり事業の中で、オープンス ペースの確保を進めます。	都市計画課 まちづくり調整課 地区整備課	・市街地再開発事業における公園・広場の整備 【大山町ピッコロ・スクエア周辺地区市街地再開発事業】 組合設立認可 【大山町クロスポイント周辺地区市街地再開発事業】 施設建築物新築工事中 【上板橋駅南口駅前東地区市街地再開発事業】 既存建物除却中 【上板橋駅南口駅前西地区市街地再開発事業】 事業計画策定中 【板橋駅板橋口地区市街地再開発事業】 施設建築物新築工事中 【板橋駅西口地区市街地再開発事業】 権利変換計画作成中	A	各再開発事業の検討・施工により、 オープンスペースの確保が進められてい るため。	【602-1】管轄の部署による、みためだけの街のきれいさや整備にならないよう、その地域らしさを活かすよう、みどりと公園課も連携してほしい。  【602-2】（確認）どのようなオープンスペースにする計画でしょうか？  【602-3】（確認）再開発事業の計画段階に、地域住民はどのように関わることができますか？

■ 事業進捗状況チェックリスト（委員からの提案・助言）

進捗状況評価 判定基準    A：実施した（アクションがあった）    B：検討した（アクションに向け準備した）    C：実施しなかった。予定通りにいかなかった。（アクションがなかった）

事業別 (下線：重点プロジェクト)	I 期 30	Ⅱ 期 31-33	Ⅲ期 34-37	事業概要等	担当部署	【令和 5 年度回答】 取り組み状況	令和 5 年度 評価案	令和 5 年度 評価の視点	委員からの提案・助言等
6-2 公園の改修整備									
【NO.603】 公園の改修整備				地域ニーズや社会のニーズに応じた公園 のリニューアル整備を進めます。	みどりと公園課	改修：3箇所 中台公園改修工事 東坂下二丁目公園改修工事、高島 平九丁目第二公園改修工事 委託：3件	A	改修工事の設計・施工により、公園の リニューアルを進めているため。	【603-1】西台駅から高島平駅に延びている緑地歩道の緑の景観が悪く、2か所の池も活用されていないので、 改修する必要がある。
【NO.607】 公園灯のLED化				LED化の推進により、省エネ化とコストの 縮減を図ります。	みどりと公園課	公園灯更新：203基	A	着実に更新工事を行っているため。	【607-1】区のホームページによると、公道街灯はH28年度(2016年) からLED化に取り組みR5年度4月時点で98.5%をLED化とある。 公園灯もこの中に含まれているのか。
6-3 主要な公園整備・改修事業									
【NO.610】 小豆沢スポーツ公園(仮称)の 整備				東京オリンピック・パラリンピック2020競技 大会の開催に向けたスポーツ公園の整備 をめざします。	みどりと公園課 スポーツ振興課	令和2年度再整備工事完了	実施済	再整備工事済み。	【610-1】全世代が楽しめる公園になった。アプローチ階段や照明が整備され、周辺を含めてVALUE UP。実施 済みとせず、駅からの商店街活性化やイベントを期待している。駅からのおしゃれな誘導サインがあるとよい。

[ 7 ] みどりを楽しむライフスタイルの推進

事業別 （下線：重点プロジェクト）	I 期 30	II 期 31-33	III期 34-37	事業概要等	担当部署	【令和５年度回答】 取り組み状況	令和５年度 評価案	令和５年度 評価の視点	委員からの提案・助言等
7-1 みどりとふれあう機会づくり									
【NO.701】 グリーンフェスタの開催				緑の大切さをPRするイベントとして、毎年 春季に開催します。	みどりと公園課	R5.5月13日～14日実施 2日間の来園者数：延べ1994人 1 開会セレモニー※区長挨拶 2 収穫体験 3 自然のクラフト体験 4 出張こども動物園ほか	A	緑を大切にする心を広く啓発するという 目的に合致したイベントを開催できた ため。	【701-1】グリーンフェスタの開催。板橋らしいイベントです。内容も関わる団体や人も温かく、今後も引き続きの開 催を希望。

■ 事業進捗状況チェックリスト（委員からの提案・助言）

進捗状況評価 判定基準    A：実施した（アクションがあった）    B：検討した（アクションに向け準備した）    C：実施しなかった。予定通りにいかなかった。（アクションがなかった）



事業別 （下線：重点プロジェクト）	I 期 30	II 期 31-33	III 期 34-37	事業概要等	担当部署	【令和 5 年度回答】 取り組み状況	令和 5 年度 評価案	令和 5 年度 評価の視点	委員からの提案・助言等
7-2 みどりについて学ぶ機会づくり									
【NO.704】 赤塚植物園の緑の講習会・ 展示会の開催				緑化啓発の拠点施設として、各種園芸講習会、展示会を開催します。	みどりと公園課	【赤塚植物園講習会の実施】R5.12末時点:5回実施（R5年度末まで4回予定） 実施：バラ講習会 3 回、ハンギングバスケット講習会 2 回 予定：バラ講習会 1 回、ケヤキ苗木の苔玉作り 1 回、ニリンソウ講習会 2 回  【展示会】R5.12月末時点：6回実施（R5年度末まで0回予定） 実施：写真展 4 植物画展 1 海藻アート展 1	A	赤塚植物園での講習会・展示会を定期的に実施できたため。	【704-1】赤塚植物園の植物（ハーブなどはない？）を活用したお茶会を希望。あの辺りは、カフェが少ないので、飲みものをたのしめるイベントや講習会があると、より「みどり」を身近に感じられるのではと思う。
【NO.705】 環境教育の推進				板橋区環境教育推進プラン2025に基づく取り組みを進めます。	環境政策課 教育委員会指導室 みどりと公園課	環境教育推進プラン2025に基づき、区内小中学校や保育園、幼稚園等に、環境教育プログラム（身近な自然等に関するプログラムもあり）を提供し、各学校園で活用いただいている。実践したプログラム内容を撮影・編集し、YouTubeで公開している。  また、区内小中学校や幼稚園等に、環境教育カリキュラムを示し、各学校園で活用している。また、各学校園は、外部人材を活用した環境教育にも力を入れており、特にユネスコスクールでは、韓国の学校とオンラインで交流し、環境についての取組を紹介し合うなど先進的な実践を行っている。さらに、エコポリスセンターでは、環境教育を担える人材の育成として、区民向けの指導者養成講座や教員・保育士等に向けた研修も行っている。  生物多様性・農とのふれあいに関するイベントを実施している。 1 農業体験プログラムの実施 里芋・小松菜・サツマイモの植付・中間管理・収穫など ・小学校 2 校、3 回実施、延べ376人（R5年度末までに1回実施予定） ・保育園 5 園、3 回実施、延べ237人 2 自然体験イベントの実施 生き物探し28人、クラフト体験21人、収穫体験及び食育22人 3 農業園ボランティアの実施 種まき、作物の中間管理、生き物観察など 8 回、延べ64人	A	板橋区環境教育推進プランに基づくプログラムや、農に触れあえる機会の創出に努めたため。	【705-1】下赤塚小学校では、校庭に大根畑が新たに作られ、令和 5 年度は種まきから収穫まで、子供たちが関わった。学校給食にも活用され、食育、地産地消など、農を身近に感じる良い経験をされている。 また、年度末には「コンポスト」も設置された。落ち葉を使つたたい肥を作ろうだが、大きいコンポストなので、給食の残ばん（生野菜など）を使つたたい肥が作れたら、より農業や食の大切さを実感する機会になるのではないかと 思う。ミミズのコンポストなどを使っている方もいるので、地域の方や専門家と協力して、より「板橋の農業」という地域性のある環境教育ができれば良いのではないかと思う。

■ 事業進捗状況チェックリスト（委員からの提案・助言）

進捗状況評価 判定基準    A：実施した（アクションがあった）    B：検討した（アクションに向け準備した）    C：実施しなかった。予定通りにいかなかった。（アクションがなかった）

事業別 （下線：重点プロジェクト）	I 期 30	Ⅱ期 31-33	Ⅲ期 34-37	事業概要等	担当部署	【令和５年度回答】 取り組み状況	令和５年度 評価案	令和５年度 評価の視点	委員からの提案・助言等
7-3 みどりを楽しむライフスタイルへのサポート									
【NO.707】 ビギナーズ講習会などの開催				みどりを楽しむライフスタイルのきっかけづくりとなるような講習会等を開催します。	みどりと公園課	【赤塚植物園講習会の実施】R5.12末時点:5回実施（R5年度末まで4回予定） 実施：バラ講習会３回、ハンギングバスケット講習会２回 予定：バラ講習会１回、ケヤキ苗木の苔玉作り１回、ニリンソウ講習会２回  【緑化教育指導員に係る区民ボランティア活動・植物観察会・緑化相談の実施】 R5.12末時点 花づくりボランティアの指導：158人/25回 植物観察会：54人/5回 緑化相談：311人/9か月	A	様々な対象に向けた講習会等を開催することにより、みどりを楽しむきっかけづくりができたため。	【707-1】赤塚植物園講習会が魅力的な内容なので、エコポリスセンターなど区内施設で出張講座を実施できないでしょうか。赤塚植物園以外でもそういった講習会が実施できれば、みどりを楽しむライフスタイルのきっかけ作りがいつそう進むのではないかと思います。
7-4 区民提案による企画支援制度の検討									
【NO.709】 区民提案による企画支援制度の検討			※	※ 区民や事業者の自主的な活動を支援する仕組みを検討します。	みどりと公園課	未定	C	具体的な仕組みの検討ができなかったため。	【709-1】区民や事業者の自主的な活動支援を検討するのは、よいアイデアだと思いますが、まだ検討が進んでいないとのことなので、どういったニーズがあるのか、例えば花づくりボランティアさんなど現在活動している団体さんへの聞き取り調査などからはじめてはいかがでしょうか。  【709-2】支援の方法として金銭補助があるが、そうではなく場所と機会の提供も。企画者の能力が高ければ有効に働くと思う。
7-5 みどりをはぐくむ協働活動の推進									
【NO.710】 花づくりボランティア活動				地域の協力を得て、公園花壇の花づくりの輪を広げていきます。	土木サービスセンター	R5.12月現在 公園数：80公園 活動グループ数：84グループ	B	活動公園数・グループ数は前年度より減少しているが、ボランティア活動への支援を行えたため。	【710-1】A～Bに下がった理由は減少だけが理由ですか？ 各ボランティアの活動状況は落ち込みは無いのでしょうか、ある団体から一言あったのですが、作業頂いているボランティアの活動を盛り上げるような思索はありませんか？（たとえば、花壇のデザインコンテスト等）
【NO.711】 地域がつくる公園制度による美化活動				公園美化活動の輪を広げ、地域コミュニティの醸成につなげます。	土木サービスセンター	R5.12月現在 公園数：27公園 活動グループ数：26グループ	B	活動公園数・グループ数は前年度と同様であるが、継続して制度活用することで、地域コミュニティの活性化に努めたため。	【711-1】活動が発展することを願う。世話役の人も気苦労もあるだろうが後継者養成に注力してほしい。区も広報等協力の便法を。
7-6 みどりの情報発信									
【NO.714】 様々なメディアを活用した情報発信				みどりがより身近なものになるような情報発信の充実に取り組みます。	みどりと公園課	X(旧ツイッター：フォロアー数2,500人超)、ホームページによる情報発信を継続 主に、グリーンフェスタやガイドツアーの開催、農業園事業について発信	A	継続して魅力発信に努めたため。	【714-1】（意見）Xのフォロワーが1700→2500に増えたのはうれしいですね。

[ 9 ] 公園を使いこなす仕組みづくり

事業別 （下線：重点プロジェクト）	I 期 30	Ⅱ期 31-33	Ⅲ期 34-37	事業概要等	担当部署	【令和５年度回答】 取り組み状況	令和５年度 評価案	令和５年度 評価の視点	委員からの提案・助言等
9-1 板橋区パークマネジメントガイドラインの運用									
【NO.902】 区民などが企画するイベントの受入体制の充実				公園利用の活性化に向けたイベント等の受け入れ体制を充実します。 （Ⅰ期）検討 （Ⅱ期）準備・導入（Ⅲ期）運用	みどりと公園課	公園を利用するための申請に応じて許可をすることで受け入れを実施。	B	区から能動的に受け入れていく制度の構築ができていないことは課題であるが、申請に基づく許可であり、事業を継続しているため。	【902-1】公園所在地元町会が運営主体となった行事（フリーマーケット、地元緑日等）の実施実績に基づいた優先利用の導入、逆に町連に対して公園を利用した行事活動企画の町会単位のコンベ実施を提案する方法。
【NO.903】 手軽で利用しやすいバーベキュー場の運営				荒川戸田橋緑地のバーベキュー場の利便性を高めます。 （Ⅰ期）検討 （Ⅱ期）準備・導入（Ⅲ期）運用	みどりと公園課	かわまちづくりにおいて、周辺の河川敷も含めた利活用について検討中	B	設計等の具体的な動きには至っていないが、関係部署との調整は進めているため。	【903-1】（確認）「かわまちづくり」は団体でしょうか？